

令和7年度 第4回甲賀市下水道審議会 概要報告

1. 開催日時 令和7年9月26日（金） 午後2時00分から午後4時00分

2. 開催場所 甲賀市役所 5階 第1・2委員会室

3. 議事 下水道使用料の改定について 原価計算の検討

4. その他

5. 公開又は非公開の別 公開

6. 出席者

委員 的場委員、金森委員、藤田委員、藤本委員、本松委員、
波多野委員、青木委員、奥山委員 以上8名

事務局 上下水道部 西田部長、山中次長
下水道課 井上課長、門坂課長補佐
上下水道総務課 谷口次長兼課長、山本課長補佐、武村係長、三澤係長

7. 傍聴者数 0人

8. 会議資料 別紙のとおり

9. 議事の概要

○出席委員数の報告

出席委員は、10名中8名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市下水道審議会規則第4条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告

○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の、会議内容の公開、非公開についてであります。当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

本日の資料には個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれていませんので、全て公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく、委員として公開させていただきます。

（全員異議なし）

○議事事項

事務局 —— 下水道使用料の改定について
資料に基づき説明

(質疑)

委員 収支計画と経費回収率について、固定費的経費や変動的経費、基本使用料、従量使用料の分け方は、以前の審議から大きな変化はないか。

事務局 基本的な考え方は同じです。数字は年度ごとに変わっているため、それを最新の数字に置き換え集計し按分しております。

委員 基準外繰入金がゼロの場合、改定率が約37%になるという試算は、あくまで参考資料であるという認識でよいか。

事務局 そのように見ていただければと考えております。

委員 事務局案の30%値上げは、原価が20%上がり、収入が10%下がるという背景の理解でよいか。

事務局 物価高騰による費用増、人口減や節水による水量減少を見込んでおり、概ねその割合を意識して計画を立てています。

委員 30%上げても、一般会計からの基準外繰入金をもらわないと収支均衡にならないということでしょうか。

事務局 はい、その通りです。

委員 基準外繰入金の30%削減は、以前あったものが減らされるという認識でよいか。また、削減を留める努力をしてほしい。

事務局 基準外繰入金は市独自の基準によるもので、現在は整備途中のため経営に必要と考えています。財政課協議では、削減の上限として協議しており、また今年度も継続した繰入は必要となることをお願いしています。

委員 30%の値上げは、一気にではなく2段階に分けるという認識でよいか。

事務局 はい、2段階改定を想定していますが、具体的な時期や割合は今後、委員の皆様のご意見を伺いながら決定したいと考えております。

- 会長 1段階目の上げ幅15%は、市民感覚としてどのように思われるか。
委員の皆様からご意見をいただきたい。
- 委員 市の事情もあるのだと思うが、前回会議でも意見されていたように1万円
を超えると感覚的には全然違う。
- 委員 2ヶ月56m³使用のモデル家庭の現行料金と、30%値上げした場合の料
金を示してほしい。
- 事務局 現行料金は8,166円です。15%上げた場合は9,385円となり1
万円以内の額になります。30%上げた場合は10,620円となり、2ヶ
月あたり2,454円の増額となる見込みです。
- 委員 受益者負担の原則は忘れてはならない。また、将来の安全性を確保するた
め、個人的には改定率を提案の30%よりもう少し上乗せすべきと考える。
- 事務局 整備が終わるまでの間は、市の政策として一般会計からの繰入金をいただ
く事も必要だと考えております。安全性の部分については、補助金制度など
を活用し、老朽化や強靱化に対する整備を進めてまいります。
- 委員 甲賀市において、生活が苦しい世帯、例えば生活保護、母子家庭などは増
えている状況か。
- 事務局 コロナ後は生活保護世帯は微増傾向ですが、ここ1、2年で急激に増えた
話は聞いていません。ひとり親世帯は横ばいと聞いています。
- 委員 滞納が積み上がっている現状について、滞納者の状況や理由の分析はある
か。値上げによって滞納者が増える可能性への懸念がある。
- 事務局 滞納は、法人の倒産・破産や、未納放置による高額化、個人の口座の残高
不足による振替不能などが理由です。現在大きく増えてはいませんが、今後
も少額のうちに徴収できるよう取り組んでまいります。
- 委員 目標2の基準外繰入金30%削減の達成年次は、令和16年の最終年次で
よいか。
- 事務局 達成年次は、令和16年の経営戦略の最終年次としたいと考えておりま
す。

- 委員 値上げ要因である流域下水道負担金が大幅に上がる理由と内容について説明してほしい。また、2回目の値上げ時期は状況を注視すべきである。
- 下水道会計の財政面、老朽化施設の更新など安心して暮らせるようにといった部分を強調した方がよい。
- 人口減少、材料費のアップ、物価高等、納得できないけれど仕方のないことがいっぱいあるけれど、安全面のことなら「そうかな」と思える。
- 事務局 要因は電気代等の維持管理費の上昇と、赤字による修繕工事の先送りです。2回目の値上げ時期は、今後の検討の中で決定をお願いしたいです。
- 委員 効率化や人件費削減など、コスト削減の具体的な取り組みはあるか。
- 事務局 人件費等の削減意識を持ち、コスト削減に取り組んでいます。施設維持費については、農業集落排水施設の公共下水道への接続がえ、包括的維持管理業務の発注、ウォーターPPPいわゆる民間活力導入の検討、ストックマネジメント計画による施設更新、AI活用や広域化、共同化による経費削減などを進めています。
- 委員 こんな取り組みをしているなど値上げと削減をセットにして、安全確保への取り組みなどについて、小学生にも分かる言葉で伝える工夫が必要ではないか。
- 事務局 ご指摘の通り、行政言葉や専門用語を使わず、分かりやすい言葉で丁寧に説明できるよう、今後工夫いたします。
- 会長 現段階でこの事務局案の30%値上げということでご承認いただき審議を先に進めたいがどうか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 収支計画について、赤字になるような計画はおかしいと思っている。もう少し上げ幅を大きくして蓄えを大きくした経営とするのが正しいと思うが、これだけ物価が上がり生活に影響が出ている状況ではこれ以上は難しいのではとも思っている。
- 今後、料金体系を検討するにあたり、基本使用料と従量使用料を一律で上げるか、あるいは従量使用料の上げ幅を大きくするかについて意見を聞きたい。
- 委員 市民へ広報誌などで値上げを説明する文面案があれば、次回までに提示してほしい。

事務局 料金改定の際は広報誌でお知らせすることになります。すぐに原稿案を作るのは難しいですが、案ができた段階で皆様にご意見をいただければと考えております。

会長 他にご意見・ご質問もないようですので、本日の議事を終了いたします。